

2014 年 12 月 3 日

野村 ICG 株式会社

PRESS RELEASE

「NICG 投資事業有限責任組合 A 号」ファーストクロージング完了について

- 合計 15 社の機関投資家から総額 280 億円のコミットメントを頂きました
- ファイナルクロージングは 2015 年中に完了する予定です
- 本ファンドは総額約 100 億円を 2 案件にコミットしています

(東京、ロンドン)

野村ホールディングス株式会社(以下、「野村」と)インターメディアート・キャピタル・グループ(以下、「ICG」と)の 50:50 のパートナーシップである野村 ICG 株式会社(以下、「野村 ICG」と)は、この度主に日本におけるメザニン投資を行うファンド、NICG 投資事業有限責任組合 A 号(以下、「本ファンド」と)のファーストクロージング(初回投資家募集)を完了しましたのでお知らせします。ファーストクロージングでは、15 社の機関投資家より総額 280 億円のコミットメントを頂戴致しました。本ファンドは 2015 年中にもファイナルクロージング(最終投資家募集)を完了する予定です。

野村 ICG は、機関投資家の皆様に国内におけるメザニン投資の機会を提供して参ります。本ファンドは、野村 ICG の設立から約 12 か月でファーストクロージングを完了しており、既に総額約 100 億円を 2 案件にコミットしています。

野村 ICG の菊田知裕代表取締役は次のようにコメントしています。「本ファンドの順調なファーストクロージングは、本邦機関投資家の皆様のポートフォリオ分散、クレジット投資に対する根強い需要の存在を裏付けていると考えています。本ファンドの投資は順調に進んでおり、野村 ICG は引き続き国内におけるメザニン投資機会を、機関投資家の皆様へ提供して参ります。」

野村証券の奥田健太郎常務は次のようにコメントしています。「野村 ICG の運営するメザニンファンドが多くの機関投資家のコミットメントによりファーストクロージングを完了したことは、日本市場におけるメザニン投資の拡大と需要を裏付けるものであると考えています。野村と ICG は、ミドルリスク・ミドルリターン of クレジット投資に対する本邦機関投資家の運用ニーズと、メザニンファイナンスに対する本邦企業の資金需要を、野村 ICG を通じてマッチングさせていきます。野村は引き続き日本のメザニン市場の拡大に寄与すべく野村 ICG を支援して参ります。」

ICG のクリストフ・エヴァン CEO は次のようにコメントしています。「本ファンドのファーストクロージングは、本邦機関投資家の日本のメザニン投資に対する需要を裏付けるものであると考えています。日本市場は引き続き良質なメザニン投資機会を機関投資家に提供することができると考えており、ICG は野村 ICG への支援を通じて日本のメザニン市場の拡大に寄与して参ります。」

以上

【野村 ICG 株式会社の概要】

野村 ICG 株式会社は、2013 年 12 月に野村グループと ICG が折半出資で設立した国内におけるメザニン投資専門の運営会社です。野村 ICG は、野村グループの持つ国内における強固な顧客基盤と、ICG の持つメザニン投資における高い専門性を組み合わせることにより、日本におけるメザニン案件を開拓し、メザニンファンドを運営します。

【インターミディエート・キャピタル・グループの概要】

ICG は、メザニン投資を主とするクレジット投資を専門とする資産運用会社です。1989 年の創業から 25 年間、安定的な運用成績を上げてきた実績があります。ICG のグローバル戦略は「現地化」を基本としており、これまで特定のマーケットや投資機会をターゲットとするファンドを、現地オフィスを設立しながら運用してきました。2014 年 9 月現在、世界中で 13 の拠点をもち、約 137 億ユーロの資産を運用しています。英国の FCA (Financial Conduct Authority) の監督下(登録番号 6015791)にあり、ロンドン証券取引所に上場(証券コード: ICP)しています。

www.icgplc.com

本プレスリリースは、野村 ICG 株式会社の業務についての一般的な公表のみを目的としています。NICG 投資事業有限責任組合 A 号の組合持分その他の有価証券の取得又は買付けの申込みの勧誘を目的としたものではありません。